

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号 14
	令和 6年 8月29日
	午前・午後 11時58分

議会名	令和 6 年 第 5 回 佐野市議会定例会	
発言者	議席番号 1 番 長浜 成仁	
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長	
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) なし	
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)	
1. 外国語教育の充実について	<p>①平成29年に告示された学習指導要領では外国語教育が抜本的に強化されましたが、本市の小学校、中学校、義務教育学校における外国語教育の現状と課題をお伺いします。</p> <p>②「ファンガレイ市中学生交流事業」が本年10月に実施されますが、参加人数は10名程度と聞いています。次回以降、本交流事業を含めた外国との様々な交流事業への参加枠を増やすことは、子どもたちの成長や夢の実現を力強く応援することに繋がると考えますが、本市の見解をお伺いします。</p> <p>③小学生英語検定料助成事業と中学生英語検定料助成事業の対象拡大並びに受験級の設定撤廃をすることによって、子どもたちの英語力及び学習意欲の向上がさらに図られると考えますが、本市の見解をお伺いします。</p>	
2. 国際防災拠点さの整備方針の今後について (1) 第2次佐野市総合計画中期基本計画との整合性について	<p>①令和6年6月の定例会において、本総合計画との整合性は取れているとの答弁がありました。当該施策「出流原PA周辺開発の推進」であります。その「周辺」とはどの範囲を指し示すものなのかお伺いします。</p>	

<p>(2) 各関係機関等との調整について</p>	<p>②令和6年6月の定例会における答弁を踏まえ、本総合計画における施策の位置付けの変更を提案しますが、本市の見解をお伺いします。</p> <p>①8月20日に開催された市政懇談会において、市長より「国交省に行きました。大臣、副大臣や政務官にも話をしました。また、内閣府にも行きました。経産省にも行きました。こういう取組については、かなりの関心を持って頂きました。」との発言がありましたが、その具体的な内容をお伺いします。</p> <p>②令和6年6月の定例会において、関係省庁との調整がどの程度進んでいるかを質問した際に、本整備方針は各論の協議に入る段階の前段であって地方公共団体や外国については現時点では具体的な調整は行っていない旨の答弁でありましたが、どの時点で具体的な調整を行うのかお伺いします。</p> <p>③本整備方針の公表後、様々な場面で市民や関係機関等に説明しているものと認識していますが、どのような反応があると認識しているかお伺いします。</p>
<p>(3) 国際防災拠点整備推進事業について</p>	<p>①本事業（予算額：1,980千円）において行われているポテンシャル調査の現状をお伺いします。</p>
<p>(4) 今後の在り方について</p>	<p>①令和6年6月の定例会において、「国際防災拠点さの」整備完了の時期等を質問した際に、「国際防災拠点さの」の取組に終わりはない旨の答弁がありましたが、現在においてもそのような認識に変更は無いかお伺いします。</p> <p>②「国際防災拠点さの」を整備するために、どの程度の予算が必要と見込んでいるかお伺いします。</p> <p>③令和8年度以降、総合計画基本計画に位置付けを行うと本整備方針に明記されていますが、現在においてもそのような認識で良いかお伺いします。</p> <p>④本整備方針の外国語版は作成したかお伺いします。</p>

3. ペット同行避難所の導入について

- ①令和3年3月の佐野市地域防災計画では「必要に応じて家庭動物（ペット）のためのスペースの確保に努めること。」と記載のあった文言が、令和4年3月の同計画では「家庭動物（ペット）の避難所建物内への入室は、鳴き声やアレルギー等、他避難者への配慮が必要となるため不可とし、建物外に家庭動物（ペット）のためのスペースの確保に努める。」となっています。文言を変更した理由をお伺いします。
- ②令和4年3月の同計画では「建物外に家庭動物（ペット）のためのスペースの確保に努める。（一部抜粋）」とありますが、この文言に沿って行われているスペース確保のための取組をお伺いします。
- ③ペット同行避難所は国際防災拠点さの整備方針に合致するのか否か、本市の見解をお伺いします。
- ④ペットを飼っている市民が躊躇することなく避難行動を取れるようにするため、専用のペット同行避難所の導入を提案しますが、本市の見解をお伺いします。